

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：環境安全・防災課

担当課長名：野田 勝

事業名	地域高規格道路 <small>ふくいこうまるおか</small> 福井港丸岡インター連絡道路 主要地方道 <small>まるおかわにしせん</small> 丸岡川西線 I 期区間	事業区分	地方道	事業主体	福井県
起終点	自：福井県坂井市坂井町 <small>ふくいけんさかいしきさいちやう</small> 至：福井県坂井市丸岡町 <small>ふくいけんさかいしきまるおかちやう</small>	延長	3.6 km		
事業概要					
<p>福井港丸岡インター連絡道路は、福井港を起点とし北陸自動車道丸岡インターに至る延長約 20km の地域高規格道路である。広域交流拠点である「福井港」および県下最大の工業団地である「テクノポート福井」と北陸自動車道丸岡インターとのアクセス強化を図り、地域産業の活性化を図るとともに、国家石油備蓄基地が立地し災害拠点となる福井港と北陸自動車道の連絡を強化することにより、災害時の緊急物資輸送における生命線となるなど大きな効果が期待されている。</p>					
H26年度事業化		H25年度都市計画決定		H27年度用地着手	
H28年度工事着手					
全体事業費	約 96 億円	事業進捗率	約 28%	供用済延長	— km
計画交通量	8,000 台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/ (事業全体)		総便益 (残事業)/ (事業全体)	
	1.3	64/84 億円		113/113 億円	
	(残事業) 1.8	事業費：61/81 億円 維持管理費：3.3/3.3 億円		走行時間短縮便益：78/78 億円 走行経費減少便益：29/29 億円 交通事故減少便益：5.8/5.8 億円	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.2~1.5 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.6~1.9 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.2~1.5 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.6~2.0 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.2~1.4 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.7~1.9 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
①交通の円滑化やアクセス向上 ・福井港及び福井港テクノポートと、北陸自動車道丸岡 I C とのアクセス向上による地域産業への寄与 ②地域防災の支援 ・第二次緊急輸送道路としての緊急支援物資の円滑な輸送を支援 ③交通渋滞の緩和 ・現道部に主要渋滞箇所が存在し、当該道路の整備により現道交通が転換され、渋滞が緩和 ④交通事故の減少 ・通過交通の排除や流入交通の分散により、これらの交通に起因する交通事故が減少					
関係する地方公共団体等の意見					
坂井市より、早期整備を最重点事項として要望されている 福井港・丸岡インター連絡道路整備促進協議会より、早期整備を要望されている					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める（福井県公共事業再評価委員会 H30.10.20）					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
周辺住民との合意形成により、順調に事業推進が図られている					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率 約 53%、事業進捗率 約 28%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
残る用地の取得を継続しており、今後も用地取得と建設工事を推進し、早期の開通実現につなげていく					
施設の構造や工法の変更等					
今後も新技術の採用、再生資材や現場発生土の有効活用を進め、工事コストの縮減に努めていく					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性・重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため				
事業概要図					



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。